

議会報告会を経て合意形成を図った意見・要望 〈学生との意見交換分〉

○魅力あるまちに関すること

- ・学生と市が連携したまちづくりの推進については、学生が学校で学んだ知識や技術をまちづくりに生かせるよう、産学官連携による研究開発等を積極的に進めるとともに、学生と市が協働する場をつくったり、学生主体の事業、イベント等の取組を支援してほしい。

【回答】（企画総務部、市民協働部、産業経済部）

本市では、高等教育機関等が持つ教育資源の有効活用や人材・情報の交流を推進するとともに、市民がより高度な知識や情報を得ることができることなどを目指し、高等教育機関等と様々な連携事業に取り組んでおります。

まず、産学官連携による研究開発等については、地域活性化センターの技術アドバイザー等による高等教育機関等とのマッチングや、国県等の補助事業の活用に係る申請支援等の中で取り組んでいます。また、現在進めておりますイノベーション創出拠点の整備やその後の事業展開においても、有明工業高等専門学校や企業等との連携を積極的に推進することとしています。

次に、学生・生徒の皆様のまちづくりへの参加促進につきましては、これまで帝京大学福岡キャンパスや有明工業高等専門学校、市内の高等学校をはじめ、市外の高等教育機関等に対しても、積極的な参加を呼びかけてきたところです。

近年の主な取組みとしては、帝京大学福岡キャンパスと連携して、コロナ禍におけるフレイル予防や介護予防を目的とした「よかば〜い体操」のDVD及び解説書の作成や、有明工業高等専門学校と連携して、小中学生を対象に「高専ハカセ塾」や「エレクトロニクス・ものづくり体験教室」の開催、三池工業高校と連携した「炭鉱（やま）の祭典」での小中学生向けの木工体験の取組みなど、多岐にわたる事業に参加いただいております。

加えて、昨年度からは、高校生が事業等を自ら企画・実施・運営することで、まちに貢献する気持ちや郷土愛を育むことを目的に「高校生まちづくり体験事業」を開始しました。具体的には、高校生が主体となり地域の魅力を発見する小・中学生を対象としたウォークイベントを開催したところです。

引き続き、高等教育機関等との意見交換並びにニーズの把握を行うとともに、地域企業と高等教育機関等とのマッチングの支援や、高校生が主体となり設定する「高校生が習得した技術などを広く発表できる場」づくりの支援、また、令和2年度に新設した市外の学生等が本市を訪れる際の旅費等を支援する「高等教育機関等連携推進費」の活用等による学生・生徒の皆様がまちづくりに参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

更に、まちなかの活性化に向けて、学生や若者に積極的にまちづくりに参加してもらう仕組みづくりについても、検討を進めているところです。

今後とも産学官連携の推進や学生等のまちづくりへの参加促進にしっかり取り組んでまいります。